
新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

camiiyu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

【Nコード】

N9742Z

【作者名】

camiiyu

【あらすじ】

鷺羽さんの実験中に美星さんによる暴走でエヴァの世界に飛ばされた天地君の物語です
新世紀エヴァンゲリオンと天地無用！魍皇鬼のコラボです

受難（前書き）

物語に対する指摘等は受け付けますが、批難等は受け付けません
ご理解の上お読みください

受難

新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

ある日の鷺羽ちゃんの実験室のこと

鷺羽さんお手紙が来てますよと美星さんが実験室に来ました その時天地君はいつものごとく

鷺羽ちゃんの実験に付き合わされていました

ぜ～～～～ったいあんたはそこにある計器に触っちゃだめだよと念を押して 手紙を読み始めました

またかと天地君はあきらめの境地で

二人の様子を眺めていました

は～～～～～～あ

また何か起こるんじゃないかと、あきらめつつ心配してたところ やっぱり何か起こりました

お約束ですね 美星さんはボタンを押しました

あらららら と実験中の計器が暴走を始めました

何やってるのと鷺羽ちゃんがあわてて計器をいじり始めましたが暴走を始めた計器は止まりません

天地君はあきらめの表情で巻き込まれました

やっぱり～～～～～～～～こうなるのか～～～～～～～～

煙が晴れるとそこには天地君がいませんでした

鷺羽ちゃんはキーボードを操作しつつ天地君の搜索を開始し始めました

あらゆる次元をもちろん自分の神としての能力を駆使して

津名魅はもちろん訪希深にも協力してもらってあらゆることを試して

やっこのことで見つけることができました

任せなさい 宇宙一 の天才科学者に任せなさい
と胸を張りました

次は天地君のお話になります

中（前書き）

シンジと天地のお話

中

西暦2015年の世界に飛ばされた天地君です

ある人物の精神に憑依することになりました

飛ばされた当初はあわてていたため状況判断ができませんでしたが時間がたつ間に平静を取り戻し、ある人物との邂逅を果たすことになります

ある人物は大けがをし、精神世界の中で天地君との邂逅を果たしますもちろんある人物も混乱していましたが時間がたつとともに平静を取り戻しました

君は誰だい、俺は柁木天地っていうんだけど

僕は碇 シンジといいます 怯えながら名前をいいました

じゃあこれからシンジ君と呼んでいいかな

はい、ではぼくはどうよんだらいいですか

そうだな

ちなみにシンジ君は何歳かな

僕は14歳です

おれは17歳だ

じゃあ天地さんとよびますね

うんそれでいいよ

状況をきこうかな

今病院にいるみたいだけど、なぜ病院にいるのかな
ええっと

父さんによばれて エヴァとかいうロボットみたいなものに乗せられて

人類の敵とか呼ばれる 化け物を倒し気を失ってるからじゃないで
しょうか

そうか

いろいろあるんだな

天地さんはどうして僕の中に来たのですか

実はある人の実験中の暴走にまきこまれて、、、、

あつははははは

慣れてただけど、こんどはここに来たというかなんというか

あはははは ふうううう

君もいろいろあつたみたいだね

ええ父さんに捨てられたと思ったら、また呼ばれて
ううううううううううううううううううううううう

そうかつらかったんだね

シンジ君は泣き崩れ俺に慰められて

泣き止んだところで

俺にできることがあれば何時でも頼っていいんだよ
といつても精神の中ですが

天地さんてお兄さんみたいだ

裏切らない人みたいだ
父さんみたいには

シンジ君は本当につらい目にあってきたんだな
あんなに泣くほど、、、、、、

シンジ君も俺みたいにトラブルに巻き込まれやすい体質なんだな
これは俺が支えないとつぶれてしまうかもしれないな
弟がいたらこんなかもしれない

よしシンジ君を支えてやろう

まずはけがを治そう

天地君の備わった力

光鷹翼を展開する力を使って

目に見えない光鷹翼でシンジ君のけがを治しました

中その2

精神に肉体がリンクしてることは天地君には当たり前です（この物語だけの設定）

ええええええええどついうことですか

天地さん

俺の住んでる世界

いわゆる異世界でいいかな

僕はその異世界では樹雷という皇国の皇太子の孫なんだ

ええええええええええええええええええええええええ

皇族の方なんですか、

僕なんかとは身分が違う遠い世界の方なんです

ぼくなんかぼくなんかぼくなんか

ちよつとちよつとシンジ君

自閉モードに入りかけの時に天地君があわてて言い訳をしました

落ち込まないでよシンジ君

皇族だといつても俺が住んでる地域では

まったくの一般人として暮らしてたんだから

だって俺がそのことを知ったのはつい1年目のことだったんだから
神社の神主のじっちゃんがすんでる神社の奥の院の祠で

魍呼という宇宙海賊が封印されてね

興味半分でその封印を解いたことが始まりで

阿重霞さん 砂沙美ちゃんという女の人が

俺が住んでるところにきて

魍呼と阿重霞さんが大ゲンカするは、宇宙に連れ出されるはで

ちなみに

阿重霞さん 砂沙美ちゃんは俺のじっちゃんの妹で

第二皇女 第三皇女なんだ

いろいろあつて落ち着いたところに

美星さんというギャラクシーポリス（GP）の1級刑事がきて

神我人いう宇宙海賊が攻めてきてやっ

俺が皇国の血をひくものだとかわり

神我人をやつけたそれからいろいろあつたよ

ふ~~~~~

光鷹翼という力は俺だけの力で起こしてるんだ

シンジ君を治した力も光鷹翼という何物も通さない

攻撃も防御も完ぺきにできる力

といつても、本当に危機が起きないと

発揮できないけどね

だからね

シンジ君よく聞いてね

おれは確かに一般人とは言えない力を持つてるけど

純粹に人間なんだよ

ただの人間なんだよ

覚えておいてね

力があるうとも、姿形が違ってても、生まれがどうかなんて

些細なことなんだよ

自分が人だと持ったらとことん信じてあげなよ

これからえあう人々を信じてあげてほしい シンジ君
これはおれが今まで生きてきて実感したことだから

天地さんいや天地兄さんと呼んでいいですか

いいけどどうしたの？

僕の目標になってください！

お願いします！

中その3

いいよおれも弟ってほしかったから

よろしくお願いします天地兄さん

こちらこそよろしくお願いしますシンジ

素敵な笑顔だねシンジ

男の俺でも好感が持てるね

ところで天地兄さん

阿重霞さん美星さん砂沙美ちゃん魍呼さん

女の人はかり出てきてますけど

どういった関係なんですか

ええっとどういったらいいのかな、、、、、、、、

恋人なんですか皆さん、、、、、、

恋人ではないんだけど、、、、、、、、

好きっ、、、、、、、、何言わせるんだよシンジ

あははは兄さん照れてる、、、、

怒るよシンジ

うつうん

話を変えるぞ

シンジはエヴァというものに乗せられたといったね
どういった経緯でそうなったのかな

4歳のころ父さんに捨てられて

おじさんという人のところに預けられて

そこで暮らしてたんだけど

突然父さんからここに来いという手紙がきて

第三東京市の駅について

葛城さんという女の人がきて

父さんはネルフというところで働いていることを聞かされて

車に乗せられてネルフ本部連れ込まれて

赤城さんという女性がきて

（このこがそうなの、）

（この子が適格者なのリツコ）

（そう、サードチルドレン）

何のことかわからずに聞いてたんだけど

サードチルドレン 適格者 何話してるのかな

暗いところに連れてこられて

いきなり明かりがついて

ロボットの顔が現れた

びっくりしてるところに

父さんがきて

お前が乗れと言ってきた

そんなのできないよと言ったら

お前には失望したと言って

上で白髪のおじいさんになんか話してた

レイを呼べとか言ってきた

ストレッチャーに乗せられた女のこがきて
ものすごい大けがしてるのに
無理やり起きそうなので
僕が寝てていいよと言って

父さん、僕が乗ります！

女の子がけがしてるのもかわらず乗ろうとしてるのに
僕がうじうじしてたらだめだから

それから、赤城さんが動かし方を教えてくれて
無我夢中で戦った

そして爆発で気を失って
天地兄さんと知り合った

そうかシンジ

とりあえずわかったよ

これからどうしようか、相談しよう

まず、俺がシンジとどうかしてることは
内緒にしておこう

疑われたくないだろうし
闘いになったときは 俺がアドバイスできたら
アドバイスしよう

わかりました兄さん

後はその時そのときめよう

シンジに目覚めの時が来たようだ
またあとでな

はい兄さん

中その3（後書き）

次はシンジ君が目覚めます

思わぬ珍客（前書き）

あけましておめでとうございます
今年も拙い小説をごひいきに

天地世界ではおなじみにひとさわがせな天才科学者の登場

思わぬ珍客

目覚めたシンジ君

お約束のお言葉

知らない天井だ シンジ

知らない天井だな 天地

あつあたまに包帯が巻かれている そうか頭から血を流してたつて
兄さんいつてたな

今天地君とはリンクしてないんです

呼び掛けたらリンクが再開する約束だそうです

けがは兄さんが直してくれたからいいんだけど

カモフラージュしてないといけないから

医者がいいというまで

つけてるけど

少し気になることがあるから ナースステーション
に行こうとおもう

ナースステーションに来ました

すみません

は~~~~い何かな~~~~にやにや

カニの形の髪の毛をした看護婦さんがきました（言わずと知れた
のお方）

どうしたのかな 天地殿

え シンジ

え えええええええええええええええええええええええええええええ
ええええええええええ 天地

誰ですかあなたは シンジ

鷺羽ちゃん or z 天地

驚いてる二人をしり目ににやにやしてる看護婦さん

とりあえず病室に逆戻りです

カ二頭の看護婦さんと

天地兄さんの知り合い見たいだから天地兄さんに任せよう

僕の体を天地兄さんに一時任せて意識交換をしました
もちろん皇家の力で

鷺羽ちゃんいつたいてうしてここにこれたの
私に不可能はない わっはは なんだって

宇宙一 の天才科学者だから 胸を張る看護婦姿の鷺羽

天地殿のアストラルを探してきた
あらゆる次元あらゆる要素
を探查して

もちろん 女神三人の能力を駆使して

ちなみに、私の今の姿はアストラルボディだから

天地世界ではおなじみですね、

ちなみにシンジどの天地殿以外は見えてません

幽霊みたいなものかな シンジ

みんなはどうしてるの 鷺羽ちゃん 天地
そりゃ 大慌てでさ

あえかどのはヒステリーを起こすは
ささみちゃんしんぱいして寝込むは
ノイケどのは平然と家事をこなしえる
ただし 心配してるけど

勝仁殿は相変わらず飄々としてる
りょうこは以下同文

美星殿はりょうこに半殺しされてる
じゅらい王家の方々は面白がってる

でもまだ見つかったことは話してない
でも皇家の木々を通して
うすうすはしってるかもね 瀬戸どのは

これからのことを話し合いましょう 鷺羽

シンジが教えてくれたことを包み隠さず鷺羽に話す天地

シンジを助けていこうと思う

天地兄さんにお任せします

任せなさい 宇宙一 の天才科学者 プロフェッサー 鷲羽にかかれば ちよいと問題だ！

[illegible]

あはっ
あははははははははははは
放心するシンジ

もうシンジ君はなるようになれと悟ったようです

これからは天地を通して鷺羽と会話するシンジです

シリアスになるかラブコメになるか

お楽しみお楽しみ~~~~~

思わぬ珍客（後書き）

人物の名前につけてるかぎっこをを省略します
皇家の方々のお名前はすみません変換しづらいので
平仮名とさせていただきます

レイ（前書き）

レイとの会話です
ミサトの再登場

レイ

そつだ昨日の大けがした女の子のところに行こうと思ってたんだ
そのためにナースステーションに行ったんだっけ
逆戻りで病室のもどつたんだ

その子なら隣の病室にいるよ 鷺羽

え そうなんだ

お見舞いに行かなくちゃ

けが自体は大したことはないんだけど 鷺羽

骨折や内臓損傷を大したことはないと言い張る天才科学者
すぐに直せるからね でたらめなこと言う 鷺羽

いや~~~~面白い素材だったから もう完治させちゃった

え シンジ

でも見た目は大けがしてる状態にカモフラージュさせてる 鷺羽

面白いね りょうことおなじだったよ

りょうこはね 私の卵子と宇宙生命体マスとのハイブリッド
いわゆる娘さ 鷺羽

じゃああの女の子もそうなんですか シンジ

そう 使徒リリスと君のお母さん 碇ユイ殿の遺伝子を組み合わせた
ハイブリッド生命体 でも人間だよ

ちなみにシンジ殿との血のつながりはないよ 兄弟じゃないよ
あんぐんなことやぐんなこともできるよ

もちろんうふふふふ 鷲羽

昨日も言ったと思うけど

力があるうとも、姿形が違ってても、生まれがどうかなんて
些細なことなんだよ

自分が人だと持ったらとことん信じてあげなよ

これからえあう人々を信じてあげてほしい 天地

わかっています兄さん

さてお話はまたあとで

御姫様に会いに行きましょう 鷲羽

こんこん

こんにちは

中をのぞく シンジ

起き上がったる少女

だれ

ええっと 僕は碇 シンジ

入っていいかな

勝手にすれば

おずおずと入るシンジ

けがの具合はどう

大したことはないわ

確かに完治してるんだから大したことはないな
見た目は大けがしてるんだから
これがカモフラージュとは思えない出来映え

碇って言ったわね 指令の知り合い？

うん 息子だよ

息子 子息 子供 長男・・・ 無限思考に入る少女

あの もしもし きみ？

なに？

名前 教えてくれる？

レイ 綾波 レイ

レイさんっていうんだ

ぼう~~~~~~~~レイの顔を見てるシンジ

何か用？

隣に入院してるんだ　また来てもいいかなレイさん

かまわないわ

ほっ　シンジ

また明日来るね

さようなら

できればまた明日って言ってほしいな

それは命令？

いや　僕のお願いだっよ

しばらく熟考のレイ

了解

また言うね

また明日　シンジ

また明日　レイ

きれいな女の子だなレイさんは

笑顔見せてほしいな　どんな笑顔なんだろう

そこに見舞いに來た葛城ミサト

あれゝシンジ君どうしてレイの病室から出てきたのかな　にやにや
してるミサト

ええっと昨日大けがした女の子が気になって
ナースステイションできいたんです

どうだったシンジ君　かわいい子でしょちょっと無表情だけど
惚れたのかな？　からかうミサト

そんなんじゃないありません！真っ赤な顔をしてるシンジ
怒って行っても説得力がないシンジ

ただのお見舞いです！

自分の病室に帰ってしまいました

あちゃゝゝゝゝからかいすぎたミサト

まっいつか

からかうネタを仕入れたミサト　まるでどこかの鬼姫みたいな
顔をしていました

今日はいろいろありすぎました　早く休みますね
兄さん　鷺羽さん

了解 天地 鷺羽

鷺羽ちゃんにお願いあるんだ

シンジにはあまりおかしな実験等は

しないほしい

俺とは違ってあちらのことはあまり話してないから

無用な混乱ははおこしたくないから

わかってるよ天地殿

俺自身のこととか家族構成ぐらいしか話してないから

遺伝子情報ぐらいしか採取しないさ天地殿

しかし興味は尽きないねこちらは

ネルフとか言っただね

おもしろいことが始まりそうだ

科学者の血が騒ぐよ

あゝあシンジできるだけかばうからね鷺羽ちゃんから

レイ（後書き）

レイの素性を知るシンジ君

ミサト再登場でもこのこのミサトはあのミサトです
ネタバレになるのでこれまでにします

エヴァ（前書き）

初号機に入り込んだ鷲羽
どうなることやら

エヴァ

エヴァの中に入った鷺羽ちゃん

二つの意識に気が付きました

一つは子供のような意識
もう一つは大人の意識

起きてきた二つの意識

子供のほうはもう一度眠らせ
おとなのほうは眠らせずにしました

話があるからおこしました
私の名前は白眉鷺羽
あなたのお名前は？

碇 ユイと申します

ではユイさんとよぶわね
あなたなぜこの中にいるの？
事情はあるのは分かってる
なぜ自分の子供を捨ててまでこの中にいるの？
自分の子供はかわいくないの
どんな仕打ちを受けたことは知ってるの？

答えなさい碇 ユイ

え どういうことですか？鷺羽さん

いい話してあげる

あなたのご主人の碇ゲンドウは自分の子供を
遠いほとんど他人に近い親戚に預けたのよ
ほんのはした金だけ渡して 養育費すらも渡さずに

えっ そんな馬鹿なゲンドウさんに限って
あんなにシンジをかわいがっていたのに
どうして どうして
涙ぐむユイ

シンジ殿がどんな境遇に陥ったか
あなたにわかるの？

4歳の子供が親に捨てられたなんて
それも両親に
どんなにさびしかったでしょうね
どんなに心細かったでしょうね
親ならどうしてそんな仕打ちができるの

まして親戚といっても赤の他人に近い関係
なのに

4歳のころから家事手伝いをさせられて
料理がまずければせっかん いろんなことに
シンジ殿は耐えてたのよ

あなたが迎えに来てくれることを信じてね
心の中でね 顔には出さずに
耐えてたのよ

拳句の果ては プレハブ小屋におしこめられて

よくもまあこんなところにいたわね
のんきに

何が人類のためよ、何がシンジに明るい未来がなんてよく言えたものね

涙ながらに話す 鷺羽

自分のことに置き換えて話す 鷺羽

タウ私のかわいい赤ちゃん

旦那の親に無理やり引き取られた息子

親なら親なら守ってあげなさい

ユイ泣き崩れて

[illegible][illegible]

ישיבת ישיבת

許してシンジ 許して
ゆるしてシンジ
愚かなこの母親を

[illegible]

わかつたわねユイさん
あなたのやることは

あなたはの中でシンジ殿を守らないといけないわよ

涙ながらにうなずくユイ

許すまじ ゲンドウ

ゆるさない

私はあちらに マギのほうに行くわね

よく考えてこれからシンジどのを守りなさい

エヴァ（後書き）

エヴァでのユイとの邂逅を果たした鷺羽ちゃん
あちらでの騒動をお楽しみにしてください

マギの進化（前書き）

エヴァでのことを終えた鷺羽
マギシステムに入り込んで
赤木ナオコとの邂逅

マギの進化

シンジ殿が言ってたロボットやらをのぞいてこようかね
アストラルボディだからどこにでも入り込めるからね
検査機器なんてちよろいちよろい
この鷲羽ちゃんにかかればね

ネルフ本部のもぐりこんだ鷲羽ちゃん
エヴァの中でユイとの邂逅を果たし
まずはこの心臓部ともいえる
コンピューターに入りこみました
MAGIというんだね

ほうほう

三つのコンピューターの合議制で決めるシステムなんだね
少しいじってみようかね

シンジ殿や 天地殿の邪魔にならない程度に

MAGIの最深部に入り込んだ鷲羽ちゃん

おやおや？

これはまた居妙なことがあるもんだね
皇家の木に似た感じがすると思ったら

生体コンピューターとはね

ふむふむ

女の思考するタイプに 母親の思考するタイプ
科学者の思考するタイプね

また原始的な生体コンピューターだね

こら起きなさい 起きなさい

何よもう人がせつかく寝てたのに

あなた誰なの

私は宇宙一の天才科学者プロフェッサー鷺羽ちゃんよ

ちよつとあなたに聞きたいことがあったのよ
で名前は

赤木ナオコよ 行き成りたたき起こして
何よもう

よくもまあこんな原始的なコンピューターでねてられるわね
あきれるわ

げ、、原始的、、、、、、、、よくも言ったわね
これでも世界最高のコンピューターよ

よくお聞き
確かに生体コンピューターを開発したことは褒めてあげるわ
上には上がいることを考えなさい
一台のコンピューターでできるんだよ

こんなことは

できるというなら証拠を見せて

うおっほん

いいわ見せてあげる私の世界の

この鷺羽が開発したものを

ちよつと来なさい

お互い アストラルだから

どんなこともできます

アストラルだけならことシンジの世界との行き来は

鷺羽ちゃんが開発してます

天地世界のG Pアカデミーに連れてこられた

赤木ナオコは驚くやら、びっくりして呆然としていました

いい世界最高なんてうぬぼれてはいけない

テクノロジーは日々進化してるんだから

あんたも科学者の端くれなんだから

寝てていいわけないでしょ

わかってるわよあなたに言われなくても

こんな素晴らしいものを見せられたら

科学者の血が騒ぎます

さて向こうの世界に帰ろうかね

やることは分かったみたいだから

シンジの世界に帰ってきた二人は
マギのsuperversionアップにとりかかりました

もちろん マギの最深部ですから外に漏れることはありません
赤木リツコが気が付かないほど
巧妙に隠されていました

とりあえずダブル思考できるようにしましょう
表は今まで通りの思考

裏はより複雑な思考ができるように
最深部は完ぺきなブラックボックス化することにしました

表のマギメルキオール、バルタザール、カスパーは今まで道理の仕様
裏はもちろん マギ鷺羽 マギ津名魅 マギ訪希深となくしました

もちろんどのマギも天地君やシンジ君の敵になることはしませんし
できません
なぜって鷺羽ちゃんだから

朝までに終わったようです

天地殿 シンジどの頑張って
下準備は終わったからね

マギの進化（後書き）

さてさてシステムバックアップはおわったようです
これからどうなることやら

最深部（前書き）

エヴァとマギの仕込みをおわった
鷺羽ちゃん

次の悪だくみをお楽しみください

最深部

システムやエヴァの仕込みをおわった鷺羽ちゃん
どうもおかしな気を發揮する所に気が付いた
いろいろ探る間に
ネルフ本部最深部に到達しました

これは！

失われた古代先史文明の遺物ににてるわね
ええっとなんて言ったかね
リリースシステムに似てるわね

使うものの心理思考を読み取るキーシステム
キーロングヌスのやり

リリースシステムとロングヌス

鷺羽ちゃんは自身の持つ探査システムを駆使して
リリースシステムとロングヌスをなめるように探査しました
ほ~~~~~

コピーとはいえよくできてるわね~~~~感心するよ

ただしこれをコピーするだけの技術はシンジの世界には存在してま
せん

何らかの異星人が介入したことは間違いないでしょう
でもこの物語ではかんけいがないので割愛します

でもコピーはコピー決定的な欠陥を発見してしまいました

一度発動してしまうと何もかも壊してしまう、言い換えれば暴走して暴走した後になのもなくなってしまう荒涼とした世界しか残さない

本来のシステムは 無開発惑星を開発するためのシステムです

リリスとアダムそしてロンギヌスこの三つがそろわないと発動しないシステムです

でも今あるコピー製品は

いけにえとなるものが需要です

それもうら若き無垢な少女

誰と誰かまいわなくてもおいおいわかるでしょう

このままじゃいけないね こんなもの発動したら

この世界が壊れちまう、

どうしたものかね そうだシステムの根幹に関するものを書き換えてしましましょう、

うふふふ

あれをこうしてこれをこうしてそれをこうして

いろいろいじってしまった結果

天地殿にしか反応しないようにしてしましましょう

この世界の人々がどんなにいじろうとも

天地殿以外は

にやりっ 鷺羽ちゃん独特の笑いが発動しました

リリスシステムはこれでいいね

もう一つ

これは人との尊厳とか無視しまくる行為
良い行為で行えばこれほどよいもの

でもそこに漂うものはなにもうつさない、反応しない
たださまようっているだけのもの
そう

綾波 レイのコピー

かすかにレイの魂の残滓が残ってるレイのコピーたち
このままじゃいけないね

いぜん魍皇鬼が鷺羽の研究室にいたときマスが集まってきた
魍皇鬼が女性体になったように

レイも補完してしまうことを思いつきました
もちろん今すぐするわけではないので

レイちゃん～～～ん楽しみにしておいてね

そこに漂うレイのコピーたちよ

おまえたちはどうしたいかききたい

さすが三神の頂神の長女、ものすごい威厳をもって告げました
このまま器としての生涯を終えたいかそれとも
今上にいる綾波レイを助けるために使われたいか
答えなさい

しばらくして レイちゃんズは答えました
微弱な意識を持って

私たちは補完計画を実行するためにうみだされたもの
レイのコピー 悲しそうな波動をだしながら

もしかたうなら 今上にいる姉妹のレイのために何かできるなら
あなたに何もかもゆだねます

わかったよ レイ

では今は静かに私が作ったところに移動させます

はい

さて レイちゃんズはこれでいいわね

なにもいなくなった水槽に鷺羽ちゃん人形を入れておきましょう
たくさんね

第二期最終の時にでてきたDrクレーにつかまっていた時に
鷺羽ちゃんが身代わりにした鷺羽ちゃん人形

鷺羽ちゃん独特の嫌味を聞かせた人形
見るものが見たらただの鷺羽ちゃんの人形
ただし他のものが見たらレイが漂ってるように見える
そんないたずらをこの水槽に施しました
決して見破れないいたずらです

ふふふ完ぺきだ 鷺羽ちゃんすごい 鷺羽ちゃん宇宙一
そうテレビ版ででた鷺羽ちゃん応援団です

宇宙一の天才科学者にかかればちよいもんだよ
深夜の空間に笑い声がこだましました

鷺羽ちゃんの介入により　ゼーレおよび碇　ゲンドウの補完計画は
完全に破綻しました、どんなに行おうとも
うんともすんとも実行できなくなりました

さて道化師たちゼーレ　碇　ゲンドウには踊っていただきましょう
さいごまで道化師として

鷺羽ちゃんの手にある裏死海文書そう碇　ユイの解読した裏死海文書
ただのシステムの取扱説明書を大事そうにありがたがってる
ゼーレの老人たち　碇ゲンドウがあわれに思えます

では次のお話までしばしサヨナラです

最深部（後書き）

早々に補完計画が破たんしました
どうなることでしょう

朝の出来事（前書き）

目覚めたシンジ君

さてさてどうなることでしょう

朝の出来事

翌朝

天地やシンジ君が目覚めます

おはよう兄さん

おはようシンジ

おはよう天地殿、シンジ殿良い目覚めができたかな

ええ驚羽ちゃん 天地

あまり寝られませんでした 驚羽さん シンジ

いゝゝゝいシンジ殿驚羽ちゃんて呼んでくれないと返事してあゝゝ
げない

天地はまた始まったかと苦笑してます

やれやれ、ゝゝゝ、驚羽ちゃんはじまったね

驚羽さん 無視

驚羽さん 無視

驚羽さん 無視

驚羽さん 無視

大人おのあなたにちゃんなんてつけられません
どこまでも生真面目なシンジ君

この姿になればいいのねシンジ殿

行き成り縮み始めた鷺羽

わっわああああああ シンジ

いつもの姿形になった鷺羽

看護婦姿の

天地君は慣れてるので驚きません

ですが初めて人間が縮むのをみたシンジ君はただただ驚くばかりです
そらそうでしょうね

シンジの世界ではそんな芸当できる人間なんていませんから

大きなエヴァを作れるのに ね

にやにやしてる鷺羽

これならどうだいシンジ殿

声も出さずにただただうなずき返すシンジ

わしゅうちゃん 小さな声で言うシンジ

聞こえないねシンジ殿

わしゅうちゃん 少し大きな声で

聞こえないねシンジ殿

今度は普通の声で　鷺羽ちゃん

よし　それでいいわよシンジ殿

シンジ殿　あなたに聞いておきたいことができてね
レイちゃんのことなんだけど

レイちゃんはりりすのあいの子だけど
重要なことなのでもう一度聞きます
これから普通に付き合っていけますか
もう一度聞きます

ただの女の子としてお　　つき　　あい　　できますか

はい！

はい！はい！

僕は綾波をただの女の子として御付き合いします！

愛の告白だねシンジ殿

言った途端ゆでだこのように真っ赤になったシンジ君がいました

良かったよこれで例のことができるよシンジ殿

例のこと？　　シンジ　天地

うんにゃ今は気にしないでいいよシンジ殿天地殿

ちよつと隣のレイちゃんのとこるに行つてくるよ

朝の出来事（後書き）

鷺羽ちゃんが念を押すお話でした

レイの笑顔（前書き）

シンジ君の初恋そして
ほほえましいお話です

レイの笑顔

少し待ってなさい

と隣に移動する鷺羽

おはよう気分はどうだい レイ殿

あなたはだれ？

私は宇宙一の天才科学者プロフェッサー鷺羽
鷺羽ちゃんと呼んでね

無表情のレイ

驚くこともしないレイ

そして自らの持つてる本に視線を移すレイ

さすがの鷺羽さんもあきれ果てる、

何も教えてないんだね 碇 ゲンドウ あきれ果てるね

大変だよシンジ殿 普通の女の子にするのは これからのシンジ殿
次第だね

レイ殿

鷺羽に視線を向けるレイ

リリス レイのコピーたち という驚羽

みるみる驚愕するレイ

ほう驚く表情はできるんだね

なぜそれをと 答えるレイ

碇司令 赤木博士以外に知ることはないレイの秘密を
ことも投げにに語る驚羽

昨日のことを事細かに告げる驚羽

俯くレイに驚羽は自愛を込めて語る驚羽

レイ殿 あんたの生まれがどうだろうと関係ないんだよ

レイ殿は今この瞬間に生きてる人間なんだよ

リリスがどうかは今関係などないんだよ

私の娘もねレイ殿と同じなんだよ リョウコというんだけど

私と宇宙生物のあいの子なんだけど 生まれ確かに特殊だけど

今も生きてるんだよ 普通の人間としてね

人を好きになる素晴らしいじゃないか

レイ殿にも同じようにしてほしい

リョウコと同じように普通の女の子として今生きて生きてほしい

これから自分は予備とか言ったら承知しないよ

優しくレイを抱きしめる驚羽

驚羽の言葉を聞いて驚愕し そして涙が出始めるレイ

うわああああああああああああああああ
泣き始めるレイ

よしよし思いっきりお泣きレイ殿

思いっきり泣いたレイ

そして レイに重要なことを告げる鷺羽

地下に保存されてるレイ殿の姉妹たちをどうしたい？レイ殿

今のままじゃまずいからとりあえず別の場所に移動させてるけどね

もし何かの役に立つんならあなたにゆだねたい鷺羽さん

鷺羽ちゃんとよんでっていわなかったかな

言った

もう一度

鷺羽ちゃん 素直ですねレイちゃんとは頭御なでる鷺羽ちゃん

照れてるシンジ殿とは大違いだよ

わかった レイ殿 レイ殿の思うようにしてあげるよ

楽しみにしておいで レイ殿

さて 外で聞き耳立ててるシンジ殿入っただい

びっくりしてるシンジ

真っ赤になりながら入ってくるシンジ

おはよう綾波さん

びっくりするレイ

おっおはようと答える泣き顔のレイ

シンジ殿はレイ殿のこと知ってるよすべてね

また驚愕するレイ

でもねレイ殿それでもシンジ殿は構わないと
レイ殿を受け入れると

近寄り抱きしめるシンジ

素直に抱きしめられるレイ

そしてまだ泣きは始めるレイ

その涙は心の底からうれしいと表現する涙でした

そして 顔を上げるレイ

悲しくないのに涙があふれるの教えて

それはね、うれしいと心が流す涙なんだよ綾波さん

心行くまでなくレイ

そして あのセリフが出ます

こんな時どうすればいいの

笑えばいいよ綾波

そして朝日のように微笑むレイ

シンジ君は射抜かれてしまいました レイちゃん的笑顔に
シンジ君の初恋です 成就してもらいたいものです
作者の願望です

必ず笑顔を守ってみせるよ 綾波

良かったなシンジ

良かったねシンジ殿

ところで これから綾波さんと呼ぶときどう呼んだらいいかな
しばらく考えた後レイちゃんは言いました

レイと呼んでほしい

呼び捨てにするなんてできないよと
真っ赤な顔でのたまうシンジ

お願いと必殺の笑顔でいうレイ

純情なシンジ君としてはどうにも対抗策もないので

真っ赤な顔で

レイ

とレイちゃんに答えました

こっこれからはレイとよぶね

必殺の笑顔でうなづくレイちゃん

僕のことはレイの思うと通りによんでほしい

シンジ君

必殺の笑顔でシンジ君と呼ぶレイちゃん

ここは二人に任せましょう

シンジの部屋に戻ってきた鷺羽

いつの間にかベッドには天地君の体がありました

天地とリンクしてる鷺羽ちゃん

天地君の遺伝子情報を書き込んで天地殿がここで活動できるように
用意したそうレイのコピー体でした
もちろんシンジとのリンクを残したままで

どうする天地殿

わかったよ鷺羽ちゃん

メインはシンジだからね 鷺羽ちゃん

わかってるわよ天地殿

これから陰で暗躍を始める天地、

その始まりでした

レイの笑顔（後書き）

素敵な笑顔が見れたシンジ君でした

そして等身大になった天地君の暗躍が始まります

これからの展開が楽しみになりました

退院（前書き）

退院するシンジ君
その朝のことです

退院

それからの数日はシンジ君にとって楽しい日々でした
朝からのあいさつに始まり夜のあいさつまで
ほんとにシンジ君にとって楽しい時でした

レイちゃんの笑顔が見たいばかりで
面白い話や悲しいお話

シンジ君が味わった幼いころの出来事を包み隠さず
レイちゃんに話しました

レイちゃんにとって初めてのことばかりでしたが
ずいぶん表情もできるようになりました

シンジ君の幼いころの話を聞いたとき
レイちゃんの心は張り裂けそうな悲しみに覆われて
泣き出す始末です

シンジ君は私よりつらい目にあつたのね
私は碇司令に育ててもらったのの
じつの子供のシンジ君はつらい目にあってるのに
それでも私を受け入れてくれたの

レイの心はもうシンジ君のことしか考えられなくなっていました

私はシンジ君しかいない、シンジ君だけが私のよりどころ
完ぺきに依存状態ですね

ラヴラブ状態

レイの心はシンジでいっぱいになっていました

碇司令のことなどレイの心からすっかり消えてなくなっていました

レイにとってもこの数日は記憶の中で光り輝くものとなっていました

さてシンジ君の退院の日が来ました

迎えに来たのは葛城ミサトさんです

あまりいい印象はありませんが これからもお世話になる方です
不機嫌な顔も見せてはいけないので

これからのことをシンジ君に告げます

碇シンジ君

正式に特務機関ネルフ本部に配属になりました

階級は特務軍曹の階級が与えられます

もちろんネルフで見聞きしたことは機密扱いになりますので
くれぐれも喋ったりしない様にしてください

違反すると 最悪は銃殺刑 軽くても営倉に入ってもらいます

いいですね 拒否は認められないのです

反論があるならここで申し述べてください

特に何も言うことはありません

しっかり受け応えできるようになりました

これも天地君や鷲羽さんそして レイちゃんとの日々が
シンジ君を強くしていったのです

もうおどしたシンジ君はもういません

守るものができたとき人は成長するもんです

それにもともとシンジ君は優秀なんですから

碇ゲンドウユイの子供ですし

天才と呼ばれた碇ユイ 碇ゲンドウ

優秀な子どもができて当たり前です

親戚のところに預けられてた時から 成績は常にトップクラスに
いました

それも親戚には面白くなかったから余計にいじめられていました

しかしそんなことはみじんも感じさせない

シンジ君は強くなりました

シンジ君今から私のところに下宿してもらいます
これは碇司令の要請です

まだまだ君のは保護者が必要ですから

わかりましたそれでいいです

と硬い話はこれまでにして

ういういシンジ君レイと親密になれたようね
お姉さんはうれしいわ どこまで行ったの
キスしたの？

にやにやしながら聞くミサトさんです

本当に瀬戸様みたいです
とシンジの心で天地がつぶやいていました

しませんよ！

お話してたんですから毎日
からかわないでください

葛城さん

前にも言ったと思うけどミサトって呼んでほしいと言ったわよね

確かにそう聞きましたけど

上司と部下の関係になるのに、気軽に言えるわけないですよ
葛城さん

確かにシンジ君とあたしは上司と部下の関係だけど

プライベートではそういったことは持ち込みたくないのよ
わかってくれるかな

もちろん本部では葛城三尉と呼んで貰わないとだめだけど

だめ？シンジ君

ふうふうううわかりました

公私の区別はします

わかってくれてありがとうシンジ君

レイに挨拶しておいで シンジ君

こんこん

レイはいるよ

おはようレイ 今日もいい天気だね

おはようシンジ君

うれしそうに微笑んで答えてくれました

今日 退院になったんだそれで挨拶に来たんだ

笑顔から泣き顔に変化しました

あわてたシンジはこう答えました

泣かないでレイ 毎日見舞いに来るからどうか泣き止んで

きつと来てね 待ってるから

そうだ明日来るとき何か持ってくるから

何か食べたいものはないかな

肉以外なら何でもいいわ

わかった飛び切りのお弁当を持ってお見舞いに来るよ
うん待ってるわ

やっと泣き止んでくれました

約束よ シンジ君

一連のやり取りを見てたミサトは驚いていました
あのレイがなっていたりわらっいがおを見せるなんて

驚いた後 何か企んでいる顔をしました

天地君が叫びました

鬼姫がいるジュライの鬼姫がそこにいると

確かに似てるところがありますねミサトと瀬戸様は

さて帰りましょう 愛しの我が家に

またした来るね レイ

また明日 シンジ君

退院（後書き）

無事退院することができたシンジ君
別れの情景がうまくかけたでしょうか
ではその夜のことは
次のお話で語られるでしょう

同居（前書き）

ミサトの部屋での同居が始まります

同居

帰り道にスーパーによって食材を買い込み

例のイベントをこなした後 ミサトのマンションにいた二人

ミサトの運転はすざましいほどのテクで

シンジ君は目を回して気を失っていました

二度とミサトさんの運転する車には乗らないと心の誓う
天地君シンジ君でした

そして部屋に入って驚愕しました

ごみごみごみごみ夢の島に来たようでした
気が遠くなるような気分でした

どしたの早くはいつたら

言葉が出ない天地とシンジ

天地の家では常にきれいな状態でしたし
ささみちゃんやノイケさんがきれい好きというのもありましたかし
家族が協力していました
あのりょうこですら、掃除をしていました

だから天地君には信じられないといった気分でした

シンジ君が言いました　ここは夢の島？

失礼ね、私の家よ、これでもね
貴方のうちでもあるのよ

決意するシンジ君

掃除しますこんなところでは生活もできません
いいですねミサトさん

はい　　なんか怖いわねシンジ君

もちろんです。手伝いますよね。ミサトさん。

[illegible]

これ以上怒らせては

いけないと悟ったミサトさん

率先して掃除に取り掛かりました

それから2時間後 すっかりきれいになった我が家に感心するミサト

ご苦労様ですミサトさんお疲れ様

ところでなぜ冷蔵庫が2つもあるんですか
台所は分かるんですが リビングにも??????

後でわかるから楽しみにしてて

台所の冷蔵庫からえびちゅを出して飲み始めるミサト
くあああああ 生き返る

一仕事した後のえびちゅはたまらないわ

どこかのおやじのようにのたまうミサトさんでした

なんじゃこりやと叫ぶシンジ

某ジーパン警察官が叫んだセリフです
と冷蔵庫を覗くシンジが叫びました

冷蔵庫の中はビールが所狭しと並んでいました

買ってきた食材を出すためのビールをせっせと出し始めました

そして食材を入れ終わった後
シンジがミサトに告げました

冷蔵庫に入らなくなったビールはすべて捨てます

そう聞いたミサトは叫びました

やめてえええええええええええつえ私の生きがい捨てないで

何言ってるんですかミサトさん

これからは冷蔵庫に入らないビールは
どんなに買ってきてもすべて処分します

ミサトさんの健康のために言ってるんですから

それと自分の部屋以外つをまた夢の島にしたら
一切の酒類の持ち込みを禁止します

いいですね ミサトさん

滂沱の涙を流すミサトには承諾する道しかありませんでした

よろしい約束ですよミサトさん

意外と厳しいことをするシンジ君です

今から料理しますからビールでも飲んで待っていてください

もうすっかり機嫌を直すミサトさんです

えびちゅ えびちゅ

鼻歌を歌いながら料理をするシンジ

うまいものだなシンジ

砂沙美ちゃんが料理してるみたいに手際がいい

親戚の家では家事はすべてしてたし
好きなんですよ料理は兄さん

できた料理をリビングのテーブルに並べ終わったシンジ

ミサトさん 料理できましたよ

早く来てくださいね

は~~~~い

いただきます ミサト
いただきます シンジ
手お合わせていう二人

美味しいわねシンジ君 お店が開けるわよ

そんなことはないですよミサトさんただの田舎料理ですよ

と謙遜するシンジ

お金を出してもいいと思うぐらいの出来栄でした

楽しくいただいてる二人

えっとミサトさんこれからは料理は僕が全面的にしますから
掃除や洗濯はミサトさんにおねがいますね

最後は氷のような視線と言葉で射抜くようにミサトに告げました

わかってるわよシンジ君 冷や汗をかきながらいうミサトさんでした
ビール捨てられては困るのでしぶしぶ返事しました
その様子を じと目でにらむシンジ君

解く言ったシンジ ミサトさんには強く言わないとだめみたいだからね

はい兄さん

食後30分が経過し あとかたづけとレイちゃんにあげる
弁当の仕込みを終わったシンジ

シンジ君~~~~~お風呂入ってきなさい
お風呂は命の洗濯というから

と風呂に入る準備をしてお風呂に入るシンジ
いきなり飛び出してきました

お風呂にペンギンが、、、

ペンギンが頭にタオルを乗せた状態で出てき
リビングの冷蔵庫に入ってしまった

あ、ああもう一人の同居人の温泉ペンギンのペンペンというのよ
賢いから人の言葉も理解するのよ仲良くしてあげてね

リビングの冷蔵庫の意味を悟ったシンジ君でした

魍皇鬼のペンギン版か
と悟る天地君でした

はい もう他にはいませんよねミサトさん

いないわよ安心していいわよシンジ君

安心して入浴するシンジ君でした

ミサトさんと会話しながら楽しい時間を過ごし
眠く成ったシンジ君でした

部屋に入るときにミサトさんがシンジに言いました

シンジ君はこの第三東京市を守ったのよ誇りに思っていていいわよシンジ君

ありがとうございますミサトさん

微笑みながら部屋に入りました

ミサトが入浴中にリツコに電話をかけていました

報告書と違うから注意したほうがいいわよリツコ

もう泣き事ミサト

違うわよリツコ

いい意味でも悪い意味でも注意したほうがいいわよリツコ

了解ミサト

と電話で会話する二人でした

シンジの部屋では天地と鷺羽ちゃんとシンジ君が
作戦会議をしていました

とりあえずミサトさんと生活をしつつ情報集めを鷺羽ちゃんに願
いします

了解 シンジ殿

天地殿はどうするの

少し考えがあるのであれで暗躍します

シンジ殿はとりあえず今のままでいいでしょう

また変わったことがあれば相談しましょう

夜が更けるまで話しあいました

鷺羽ちゃんのセキュリティで今までの病院とかこの部屋の会話はすべて

漏れてはいません

完ぺきなセキュリティです

同居（後書き）

ミサト部屋での騒動およびペンペンとの出会い
天地と鷺羽の会議
うまくかけたでしょうか

ではまた次のお話をお待ちください

第二東京市（前書き）

天地君が第二東京市での暗躍のお話

第二東京市

シンジ君がレイちゃんと楽しい時間を過ごしている日のことです

シンジ君を助けるために暗躍をし始めた天地君

まず自身のあしばを固めるためにさるやんごとなき

お方をお願いするために第二東京市にやって来ました

えつと鷺羽ちゃんの話によると伊集院忍という人に連絡しなさいか

何時鷺羽ちゃんはずなぎをとったのでしょうか

鷺羽ちゃんというべきでしょうね

鷺羽ちゃんにもらった携帯で伊集院さんに電話する天地君

ぷるるるるるる がちゃ

もしもし わたくし榎木天地樹雷と申します

伊集院忍さんでしょうか？

はいわたくしは伊集院忍と申します

不躰ではありますが折り入ってご相談があり お宅にお邪魔したいと
思いますが如何でしょうか？

榎木 樹雷 榎木 樹雷 榎木 樹雷 考え込む伊集院さんでした
聞いたことあるような名前

とりあえず返事をする忍さんです

はい、わかりました 何時ごろなりなりますか

10時ごろお伺いしたいと思います

わかりました10時ですね、お待ちしております

がちゃ

忍さんは天地君といか柁木 樹雷の名前が何のか書物に載ってるのを思い出しました

その書物は蔵にあるので蔵の中に探しにいきました

しばらく探してると目的の書物が見つかりました

その書物の名前は天朝興亡記と書いてありました

その昔子供のころに忍さんが読んだ伊集院家に伝わる伝説を書き記したものでした

目的の名前が載った項目を探し出し読み始めました

。。。の帝がある公家の邸宅にお忍びで遊びに行く途中

恐ろしい魔物に襲われて供の武士や陰陽師が次々倒れていくなか

颯爽と現れてその魔物を見たこともない光り輝く刀と光り輝く盾で倒してしまいました

助けてくれたこと感謝する その方の名前は何と申す

柁木阿主沙樹雷と申します　お怪我はございませんか

有無けがはない　褒美を取らず

いえなど褒美入りません　困っていたのをお見かけたのでお助けした次第です

では失礼します　いつの間にかいなくなっていました

感動した帝は宮廷に帰り柁木阿主沙樹雷を探せと触れを出しました　一向に見つかりませんでした

それはそうでしょうね見つかるわけがありません
皇家の船がトラブルに巻き込まれ阿主沙だけがここに飛ばされ
また舞い戻っていたのですから

側近であるその時の伊集院忍さんのご先祖様に書き記すことを
命令して今にいたると書いてありました

天地君と阿主沙さまは同じ体験をしていたのですね
血筋といふかなんというか　運命を感じざるを得ませんね

時間が来たので蔵からその書物を持参して
天地君が来るのを待っていました

ピンポン

天地君が来ました

応接室に案内された天地君

忍さんはおもむろに自身が持つてる書物を渡し
該当のページを読むようにいい　その中にある名前を天地君に聞きました

柁木阿主沙樹雷と書いてありますが　君には心当たりありますか？

はいわたくしの曾祖父の名前です

そうですかではその書物に書いてあることは事実ということか
.....

考え込む忍さん

そして

君、お願いがあるということでしたが、どんな願いですか

実はわたくしの弟分にあたる少年を助けたいと思い、知り合いから
貴方のお名前をお聞きしご相談したいと思いここにまかり越しました

で、その知り合いの名前は？

白眉鷺羽ともうします

名前を聞いて苦笑してる忍さんでした　あああの鷺羽ちゃんですか

天地君が驚いて考えます

なぜこの人が鷺羽ちゃんの名前を知ってるんだろつか

なぜ名前を知ってるかという顔をしていますね

大人の世界のことなので君は知らないほうがいいでしょうね

はあわかりました

で、私に何をしてほしいのかな？

実は戦略自衛隊及び自衛隊に入り込みたいので
それはどうしてですか・

シンジを助けるためです

わかりました

明日もう一度ここにお越しく下さい
良い返事ができると思いますから

わかりました ではまた明日お伺いします

天地君は帰っていきました

忍さんは笑い声をあげました これは楽しくなりますね
ネルフに一矢報いることができますと

やんことなきお方に報告するために
館のほうへ向かいました

陛下ご報告があります

わたくしの家に伝わる書物をお読みください

例の書物を陛下にお渡ししました

そして忍さんは言いました

その書物に載ってる榎木 樹雷なるものの
子孫がわたくしの家に参りました

おおおおおおお見つけましたか
わが祖先を救いし榎木 樹雷が、、、泣き崩れました

ええその書物が本物であることが証明できました

ではそのものに褒美をやらねばならないな
ええそうでございますね

でもその少年は褒美などいらなんでしょうね
その代りある地位を与えればよろしいかと

その地位とは？

戦略自衛隊と自衛隊の指揮権がよろしいかと

なぜですか

ネルフといえばお分かりと思います

うむ、ではその方の思つようにしなさい

陛下はおもむろに錦の御旗を忍さんに預けました

根回しはその方に任す、 はは

次の日同じ時間に天地君が来ました

君の希望はすべてかないましたあとはその時が
来たら、、、です

これを君に預けておきましょう

そうです錦の御旗です

こんな高貴なものをわたくしに
やん事気なきお方の好意の品です ありがたくお受けしておきなさい

、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
わかりました、 お預かりいた
します

では失礼いたします

天地君は、帰っていきました

総理に電話しましょう

総理憎つきネルフに一矢報いる機会が訪れましたよ
あとは以前から用意したプログラムを発動しましょう
陛下からのご許可が下りました
財界も抑えておりますから
あとは政府だけです

わかりました わが政権のすべてをかけて行いましょう
お約束いたします

この世界では 政府財界は愚かやんごとなきお方まで敵に回して
たようです

さて第二東京市での暗躍を終えて第三東京市に帰っていく天地君で
した

第二東京市（後書き）

第二東京市での暗躍のお話でした

ネルフはこの世界でも嫌われていますね

ではまた次のお話をお待ちください

弁当（前書き）

レイちゃんへの弁当です
甘いお話です

弁当

翌朝早くに起きだしたシンジ君 朝ごはんはんとレイちゃんのために作る弁当を作り始めました

定番の卵焼き たこさんウィンナーと昨夜に作っておいた煮物等をきれいに盛り付けてお弁当の完成です

レイ喜んでくれるといいなとニコニコしながら

本当にうれしそうな笑顔をするシンジ君

ミサトの朝ごはんはんと昼ご飯を用意して

手早く自身も朝食をとり 着替えをしました

ミサトの部屋の前で

ミサトさ～～～ん朝と昼の用意してますから適当に食べてくださいね
食べた後の食器は流しにおいておいてくださいね～～～
僕が帰ってきたら洗いますから～～～～

寝ぼけ眼のミサトは

ほ～～～～～～～～い返事しながらまた眠ってしまいました

やれやれと思いながらレイが入院する病院にいきました

おもむろに起き上がり携帯を取り出し電話をするミサト

ターゲットは病院に行ったわ ガードよろしくと相手にいい電話を切りました

昨夜、リツコと長話したためまた布団に入って寝ちゃいました

ずばらなミサトさんですね

病院に着く前に青果店によりお見舞いの果物を買って
病院に向かいました

レイちゃんの病室に入りました

おはよう レイ加減はどう

おはようシンジ君 今日は大分いい

シンジ君の顔を見ると嬉しそうに微笑み答えました

昨日約束したとおりお弁当作ってきたよレイ

ありがとうシンジ君

本当にうれしそうなレイちゃんです

食後の果物も買ってきたから後で食べようね

はい

昼ごはんまで時間があるので備え付けのテレビを二人で見ながら時間が過ぎて

昼ごはんの時間がきました

あまりおいしくないかもしれないよ　といいながら弁当を差し出す
シンジ

弁当を受け取ったレイちゃん

これすべてシンジ君が作ったの？

うんそうだよ

うれしいありがとう

真っ赤になりながらシンジ君食べさせてというレイちゃん

そうかカモフラージュとはいえけがしてるんだっけ
と心で思いながら

真っ赤になりながら返事をするシンジ君

うんわかったよ

ラブラブ空間を醸し出していました

見ていられませんかこのあま~~~~~いラブ
ラブ空間

食後の果物もかすむ甘さ

数時間が過ぎ

名残惜しいですが面会時間が終わりました

もう帰らなきゃいけないね

さみしそうに告げるシンジ君　レイちゃんも泣き出しそうな顔で

行かないでと泣き出す始末

また明日も来るからなかないでレイ

うんきつとよ　絶対にね

氷の無表情と言われたレイちゃんがこれほど表情豊かになるとは
作者も予想外です
あいですね~~~~~

また明日ね

うんまた明日

と病室を出るシンジ

エレベータの前で待つシンジ君

ドアが開くとそこにはゲンドウがいました

シンジここで何してるんだ

そんなこと父さんに関係ないだろう

レイのお見舞いに来たんだよ

そうか

とエレベータから出るゲンドウ

何も言わずに去っていくゲンドウ

うれしい気分を台無しにされた気分で帰っていききましたシンジ君

レイの病室に入るゲンドウ

レイ具合はどうかと聞くゲンドウ

氷点下の氷の表情で答えるレイちゃん

問題ありません と答えるレイちゃん

もうレイちゃんの心はゲンドウはありません レイちゃんの心に
住んでいるのはシンジ君ただ一人

レイの表情に違和感を覚えたゲンドウですが
気のせいと思いながら

退院したらまたステーキでも食べにいきましょうという
病室を出ていきました

シンジ君 シンジ君また会いたいそばにいたいと泣き出すレイちゃん
病室に泣き声だけがひびいていました

その夜のことです

夕食を食べた後ミサトさんがこう言いました

シンジ君。月。日から第壱中学校にかよってもらいます
レイも通っているから楽しみでしょうシンジ君

はいと嬉しそうにしていました

ほんとシンジ君はレイのこと好きなのねと思うミサトでした

弁当（後書き）

シンジ君とレイちゃんの甘いお話
如何でしたでしょうか

つぎはシンジ君の学校生活のお話です

ではまた次のお話をお待ちください

登場人物紹介

登場人物紹介（今更ながらですね）

碇 シンジ

本作品の主人公

特務機関ネルフ

階級は特務三等曹官 サードチルドレン

エヴァンゲリオン初号機パイロット

さまざまな不幸に見舞われながら元気よく生きる男の子

天地君が突然精神に憑依されても動じないほどの心の強さをもった男の子

恋愛に関しては驚くほど奥手

レイちゃんとは相思相愛

頭脳は碇 ゲンドウ 碇 ユイの血をひき、成績は常にトップクラス
運動は苦手、チェロはそこそこ

のちに天地君から「光鷹真剣」を指南してもらいます

料理は腕は超プロ級五つ星クラスのレストランが開けるほど
碇木砂沙美樹雷と為を張れる

怒るとミサトさえ怖がらせるほど

碇木 天地

本作品の陰の主人公

天地無用！魍皇鬼シリーズの主人公

本作品ではシンジ君の精神世界でのお兄さん役です

現実世界ではレイのコピー体に憑依して陰で暗躍しております

シンジ君の前に現れるかは今のところ未定です

剣の腕前は「光鷹真剣」の使い手達人級

自力で「光鷹翼」を展開できる唯一の存在

シンジ君に剣を指南します

恋愛に関しては驚くほど奥手

白眉 鷲羽

宇宙一の天才科学者

天地無用！魍皇鬼シリーズに出演中

本世界では精神世界で活躍中

レイのコピー体に憑依してたまに出てます

マッドサイエンティスト

どんな活躍をするか作者にもわかりません

綾波 レイ

本作品でのヒロイン

特務機関ネルフ

階級は特務三等曹官 ファーストチルドレン

エヴァンゲリオン零号機パイロット

シンジ君の恋人

リリスと碇 ユイとのハイブリッド

但しリリスの遺伝子のほうが強いためほとんどユイに遺伝子情報が

ありません

唯一あるとすればユイの顔にしているぐらい

子孫を残すことができます

シンジ君とは超ラブラブです

葛城 ミサト

特務機関ネルフの作戦部長

階級は特務三等尉官

作戦は臨機応変な用兵をします

たまに変な作戦を立てますが 意外とうまくいくことが多い
生活面ではずばら ごみに埋もれても平気

えびちゅう命 えびちゅう命 えびちゅう命 えびちゅう命

面白いことに首を突っ込みたがります

ある作品でのヒロイン 悲恋の経験あり

加持とは大学時代の恋人関係

赤木 リツコ

特務機関ネルフの技術部長

階級は技術三等佐官 唯一の士官

葛城 ミサトの親友 大学時代からの腐れ縁

碓 ゲンドウの愛人 のちに離反

徹底的なテクノロジー信奉者

赤木 ナオコ

特務機関ネルフの初代技術部長

階級は死亡しているためなし

マギシリーズの生みの親

マギの中でお休み中

鷺羽にたたき起こされて覚醒

マギのバージオンアップを鷺羽とともにする

元碇 ゲンドウの愛人

現実世界に出るかは未定

碇 ゲンドウ

特務機関ネルフの総司令官

階級は特務一等将官

認めたくはないですがシンジの父親

この物語における不幸の大元締め

頭脳は優秀

シンジ君を不幸に追いやり レイちゃんを氷の無表情に
追いやった悪人

ユイを復活させるためなら何でも実行する行動派

碇シンジ、赤木親子すら駒にする悪人

ユイ命 ユイ命 ユイ命 ユイ命

碇 ユイ

特務機関ネルフ

現時点では死亡しています

エヴァンゲリオンの基礎を作った科学者

シンジの母親 改心しました

鷺羽によりシンジの不幸を聞かされ改心しました

ゲンドウを憎んでいます

頭脳は天才です

裏死海文書を解読した唯一の人

この物語におけるキーパーソン

現実世界に出現します 時期は未定そんなに遅くはないです

冬月 コウゾウ

特務機関ネルフの副司令官

階級は特務次席将官

ゲンドウ ユイの大学時代の恩師

ネルフの良心

ゲンドウの言動や行動に頭を悩ます苦労人

胃痛もち はげるかも

ゲンドウの裏の補完計画はしりません

ユイを本当の子供のように思ってます

ゼーレ

人類補完計画を画策し執行する力を持った老人たち

裏の世界を牛耳ってる老人集団

ゲンドウすら駒に扱えるほどの権力と財力を持った集団

真の裏ボス

こののちほど出る方たち

惣流 アスカ ラングレー

特務機関ネルフドイツ支部

階級は特務三等曹官 セカンドチルドレン

エヴァンゲリオン二号機パイロット
ヒロイン候補

TV版とは違う性格の持ち主
出会うまではひ み つ

洞木 ヒカリ

第一中学校

のちに特務機関ネルフに所属 フォースチルドレン
階級は特務三等曹官

エヴァンゲリオン四号機パイロット

この物語では使徒の憑依はありません
ヒロイン候補

鈴原 トウジ 相田 ケンスケ

出ますが

大けがをして長野の学校に転校します
妹云々はこの物語ではありません

伊吹 マヤ

特務機関ネルフ

マギの専属オペレーター

赤木 リツコの高校大学時代の後輩

科学者としての赤木リツコは尊敬しています
性格はノーマル

コピー体の天地君の恋人になる予定

天地君ファミリー

幾人かは出演予定

登場人物紹介（後書き）

階級等はうる覚えですので間違っているかもしれませんが
教えていただければ直します

初登校（前書き）

ご指摘がありましたので作者視点 精神視点 現実視点の書き方を
改変します

作者視点は今まで通りで行間を開けます 精神視点では（ ） 現実
視点では名前をはっきり書いたうえでこれから行こうと思います

初登校

さて楽しい病院通いも終わり登校日が来ました

シンジ君今日から学校だね

気兼ねなく中学生生活を送ってね ミサト

はいミサトさん

どんなことが始まるか今から楽しみです シンジ

(いい学校生活が送れることを祈ってるよシンジ)

(ありがとうございます兄さん)

じゃあ車に乗ってしゅっぱつよ~~~~~ ミサト

(げっまたミサトさんの運転かいやだよ兄さん、俺も乗りたくないよシンジ)

なっなによそのいやそうな顔はシンジ君

そんなに私の運転する車が嫌なの ミサト

それはそうでしょう気を失う運転なんて誰も乗りたがりはないと

思いますよ

そつつつんなことはありませんよ ミっミっミっミサトさん
ンジ

じゃあ乗って乗って 出発進行 ミサト

いやいや乗り込むシンジ君でした
暫くは普通の運転でしたが後続車に抜かれた途端 目の色が変わっ
たミサトさん

私の前には何人も走らせはしないわよ、ターボオン ミサト

学校に行くだけなのに峠まで走り出すミサトさん
どこの世界の話ですか某漫画の頭文字じゃないんですから

（はじまつつつつつつつつたああああああああああ
ミサトさんの暴走が）

もう気を失うシンジ君でした

シンちゃんもうおねむなのだらしないわっよ

（それじゃあ兄さんまたあとで会いましょう）

（あれにうつって散歩でもしてくるよ）

（はいまたあとで）

今日から転校してくる碓 シンジ君だ慣れないこともあると思うが
仲良くしてあげてほしい 先生

初めまして 第二新東京市から来ました碓シンジです
慣れないこともあると思いますが、仲よくしてくださいね ニコッ

きゃあああああつああと真っ赤になる女性徒
一目見てファンになる生徒
ファンクラブを結成し始める女生徒

此れは売れるというメガネの男子

けつと悪態着く似非関西弁を喋る男子

皆さんそれぞれの感想を漏らしております
男子にはあまり好意を持たれてはいませんね

女子にはいうまでもありませんね

静かにしなさいよ！授業が始まらないわよ

私の名前は洞木 ヒカリ このクラスの委員長をしています
わからないことがあれば私に聞いてね

ヒカリ

ありがとう 洞木さんこれからもよろしくね ニコリ

シンジ

シンジの必殺ほほえみに射抜かれたヒカリ

こっこれからよろしくね

ヒカリ

そう答えるのが精いっぱいのヒカリちゃんでした

のちの碇シンジファンクラブ会員番号N o 3 洞木ヒカリ

もちろんN o 1はレイちゃん、N o 2は惣流 アスカ ラングレー

碇シンジファンクラブ御三家の始まりでした

シンジを守り 愛し 慈しむことを誓い合う

鋼鉄の御三家

そんなこんなで波乱の学校生活が始まりました

わいの名前は鈴原 トウジや

僕の名前は相田 ケンスケです

ぼくは碇シンジですよろしく

当たり障りのないあいさつで終わろうと思ってたシンジ君
行き成りからまれてしまいました

わいはおまんを殴らなきゃならん　ならんのじゃ　トウジ

なぜ僕が君に意味もなく殴られなければならないの　シンジ

鈴原は委員長のこと好きだったんだよ
だから黙って殴られておけよ　ケンスケ

そんな理不尽な理由で殴られるわけにはゆかない
僕が悪いわけじゃないじゃない
逆恨みだよ　シンジ

うるさいわ黙ってなぐられとけ！　トウジ

殴られそうになったとき　ヒカリちゃんが割り込み
鈴原を平手でたたきました

鈴原最低ね！男らしいと思ってたけど幻滅だわ
もう話しかけないでね

たたかれた鈴原君は呆然とほほを触り教室を出て行ってしまいました

おい トウジ待てよと追いかけて行ったケンスケ君です

後に残ったシンジ君たち

男子と女子に言いました

鈴原君は鈴原君なりの理由があつての行為だと思う

男としては分からないことでもないと思う

だから彼を許してやってほしい

お願いします

シンジ君自身過去にそういつたいじめがあつたので

鈴原君に気持ちがわかるための発言でした

天地君との交流があつてのたまものがです

トウジ君にシンジの気持ちが伝わったかは定かではないですが
教室にいる生徒はシンジの言葉を胸に

トウジが帰ってきたら仲良くしようと思いました

ヒカリちゃんの違いました もっとシンジのことが好きになって
きました

自分より他人を大事にするシンジが

そんなこんなでトウジとケンスケは放課後まで帰ってくることはな

か
っ
た

初登校（後書き）

初登校とトウジたちのやり取り
うまく表現できたかはわかりませんが
精いっぱいにしました

また次のお話をお待ちください

シンジの修行（前書き）

天地君によるシンジのために行う剣の修行ゆえに
天地君とシンジ君しか出ません

精神世界でのお話ではありません

ちなみに天地君も実体化をしております

読みにくいと思いますが御了承ください

シンジの修行

まず精神の統一から始めるよシンジ
目を閉じなさいシンジ

耳を澄ませて周りの音を聞きなさい
いろんな音から俺だけの声に集中していきなさい

どんな音にも動じないように集中しなさい

今は虫の音や風の音や喧噪などがお前の耳に聞こえてくる
その音に惑わされていると思う
俺の声が聞こえにくいと思う

だんだん俺の声が小さくなっていく

集中してくれば自ずとわかるようになる

どこから俺の声が聞こえるか指で示しなさい

そう今はお前の前にいるだが次はどこにいるかあててみなさい
違うそちらには俺はいない

もっと集中しなさい

まだまだ集中が足りない

失敗 まだだ

ほかのことは考えるな！

声に集中しろ！

そう、そうだ今の感覚を忘れるな！

失敗！惑わされすぎだ

気を抜くな！

そんなことでは最愛のものなど守れはしない

まだだ！

お前はそれだけなのか！

甘えるなシンジ！

エヴァは鎧でしかない

身を守るには自分の精神を鍛えるしかない

技術は後からついてくる

自分を信じられないものが他人など信じることはできない

俺も同じことをじつちゃんに言われた

自分の力を信用しろ

お前にはできるそれだけの力がある

心から信用しろ俺の言葉ではなく自分の内なる力を

そうだそれでいい

天地君の言葉を精いっぱい追ううちに六角形の赤い色した薄い膜が
現れました

できたじゃないかそれがお前の心の中の力だ

目を開けてみるシンジ

目の前のものを見ても

シンジ君は A Tフィールドを張っていました

兄さん言われて目を閉じました

初めは兄さんの声が聞こえませんでした周りの音に惑わされて

周りの音が大きくて
もっと集中しろと

だんだん周りの音より兄さんの声がかすかに聞こえてきました指を

させというので
さしました

初めは目の前から聞こえたので正解しましたが

次は当たりませんでした

兄さんが怒鳴りました

また指をさしました でも当たりませんでした

もっと集中しないと

もっと何も考えないように

もう周りの声は気にならなくなりました

だんだん兄さんの気配を感じるようになっていきました

でもまだ当てることできません

自分が守りたいと思うことしか考えなくなっていきました

レイのことを心から守りたいと

そして自分のことを信じる

信じられるように

兄さんも同じ修業をしたと

心と体の修行を

確かにエヴァは鎧でしかないそう思います

心が心が大事だと思えるようになりました

もう自分の声すらも信じていました

兄さんに頼らないで

目を開けると 兄さんに言われた

そこには薄いですが赤い六角形の膜が張ってありました

それが ATフィールドでした

まだ薄いですがATフィールド発現でした

そして木刀による修行が始まりました

何度も何度も兄さんに打ち込みますが
紙一重で交わされてしまいます

さすが兄さんと感動したら 撃ち込まれました

なにばーっとしてる 集中しろと言ってるだろう

本気で殴られました

もっと打ち込まないといけないな

夜になるまで何度も何度も兄さんに修行つけてもらいました

驚いたシンジもう木刀を握れるくらいに成長したんだな

俺の場合じっちゃんに木刀許可してもらったの

何年もかかったのに

でもまだまだだな

気を抜くとすぐ俺に打ち込まれてこぶを作る

ある意味才能だなシンジの場合

悪党とはいえゲンドウの血筋恐ろしいなこのまま成長すれば

俺など足元にも及ばない位強くなるな

そうです ゲンドウの遠い祖先は何人もの剣豪を輩出する血筋です
文武両刀を地で行く血筋だったのです

ですが時代が過ぎるうちに血が薄まり頭脳だけで身を立てる人が
多く出てきて ゲンドウという悪党が出てきたのです

しかし隔世遺伝でしょうね

シンジ君に現れたのでしょうか

もしこのような時代じゃなければ決して現れることはなかったでしょうね

シンジ君は

時代が生み出した稀有の少年それがシンジ君

これからは学校が終わったら修行するからなシンジ

はい！兄さん

僕は強くなって見せるレイのために

夕日に向かって誓うシンジ君でした

シンジの修行（後書き）

シンジ君の修行編でした

なかなかうまく表現ができません
作者の力不足かもしれませんが

ではまた次のお話をお待ちください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9742z/>

新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

2012年1月4日15時51分発行